20151201

vol. 14

第 14 号

## **AP COMMUNICATION**

株式会社アピックス 社外報 AP 通信



### AP COMMUNICATION



日本の都市に来ているようでした。

今回の目的である企業視察は、まずマイ ハンブルハウスグループという約30年の歴 史を持つ、現代芸術・骨董品・フラワーデザ イン・飲食やホテルサービスなど幅広い経 営を行っているところで、シェラトン台北ホ テルでの販促物や印刷前のプルーフ(試し 刷り)など、デジタル印刷を活用した事例を 見せて頂きました。

科楽印刷株式会社(KOLOR)は創業26 年で、"高い品質・生産性・仕組み"を理念

に、誰でも簡単に作業が出来るように、非常 に効率(生産性)を考えた仕組みが導入さ れていました。MIS(経営情報システム)も 完成されており、IT化を図って収益を上げ ているというお話を会長直々に紹介して頂 きました。

オフセット印刷は多面付け(ギャンギン グ)を活用し小ロット対応・コスト低減など、 台湾では成功している事例ということでし た。しかしながらデジタル印刷は日本と同じ くコスト面での課題を持っておられました。

大阪制作部 マネージャー 増田 良輔

今年の8月に社内公募で「デジタル印刷 において、台湾視察期待すること」という テーマでレポートを提出し、台湾視察に行 けることになりました。

大阪から約3時間で桃園空港に到着。台 北は都会でビルが立ち並び、人々には活気 があり、交通量も多く(特にバイク)、日本の 企業が多く進出しているので、感覚としては

2泊3日と短い滞在でしたが、学ぶことの 多い台湾視察でした。ちなみに一番おいし かった料理は、三越新光デパートで食べた、 鼎泰豐(ディンタイフォン)の小籠包でした (なんば高島屋にもあります)。



# 「言葉は"伝える努力" "聞く勇気" 」 ■

リソースマネジメント部 山本 夢実



リソースマネジメント部山本です。オンサイト業務にて会議・研修資料の作製、施工技術マニュア ルの出力製本発送、機密文書破砕、カタログの電子化業務を引き受けております。

当サイトでは「伝える努力・聞く勇気」という言葉をスローガンとして掲げています。

どのような言い方をすればわかりやすいのか、どう伝えれば気持ちよく聞いてもらえるのかとい うことを常に考えることが「伝える努力」です。分からないことや不安なことはどんなに忙しくても 怖がらずに必ず確認することが「聞く勇気」です。「聞く勇気」にはもう一つあります。それは「聴く勇 気」です。相手の話を聞く姿勢や自分にとってネガティブな内容のことであっても聞き入れる勇気 が「聴く勇気」です。

これはメンバー間だけの話ではなくお客様との間でも一緒で、常にアンテナを張り、お客様が望

んでいることは何か、どうすれば喜んで頂けるかを考え行動すること で、事故を未然に防ぐことができたり、業務の効率化や工数の削減 につながったりすると思います。

これからもメンバー同士がコミュニケーションをしっかりととり、 互いに【気】と【目】と【心】を配り合い、そして全員が同じ方向を目指 し続けられるよう、チームワークを高めていきたいと思います。



### 東京営業部経営方針会議でのMVP受賞について

東京営業部リーダー 吉田 慎二郎



2015年10月17日に66期経営方針説明会が開催されました。 前期のレビュー並びに今期の方針について、全社員が共有する場です。おかげをもちまして、営業部として65期の目標を達成することができました。また65期のMVP賞として東京営業部が選ばれ、大変誇りに思います。

お客様が求めるニーズにお応えし、また有益な情報をご提供する

ことにより、必要不可欠な存在になること こそが、私たち営業の最大のミッションだ と考えています。

お客様にとって、一業者ではなく「ベストパートナー」となれますように、これからも精進してまいります。



### 社内行事 本社休憩室リニューアル

事業企画室 リーダー 山本 航平

"ようこそ、

**休憩室へ"** この度、10月 に本社休憩室が 全面リニューアル

しました!

かねてからの懸念事項であり、従業員が増えてますます必要性にかられ、実現の運びとなりました。

従業員の皆さんにリフレッシュしてもらおう

と、シンプルさと温かみのある北欧インテリアをイメージレスタート。

実際にやりだすと、膨大な見本帳と格闘する はめに…何度も休憩室を往復すること数日、 テーブルやイス・ソファーのチョイスも終 わり、心地よい雰囲気を演出できたと思い ます。

まだそろっていない物もありますが、思い思いの場所で、ひと時のリフレッシュタイムを楽しんでいただければ!









## 「さらなるステップアップを 目指して」

大阪制作部 森 ゆり子

大阪制作部の森です。今年の春に入社して、約半年が過ぎました。

前職は教育関係の仕事をしておりましたが、自分自身さらにステップアップ したいと思い、アピックスに入社致しました。

業務内容は、製薬関係ドキュメントの受付・手配等を行っております。

出力、製本の担当者がスムーズに業務に取り組めるよう、データや仕様に不明点があれば、直ぐに問い合わせするように心掛けています。

まだまだ至らない部分が多く、周囲の方々にご迷惑をお掛けする事もありますが、持ち前の明るさでより一層チームワークを高めていきたいです。 どうぞ宜しくお願い致します。



### 代表取締役社長 河村武敏

### 中期経営計画2年目が スタートしました】

弊社の事業年度は10月がスタート、毎年 この時期は全社行事で大変慌ただしい日々 が続きます。キックオフ会議の場で、東京・ 大阪2拠点で前年度のレビューを数字面と プロセス面から行い、次の年度の経営方針 を発表します。今年は前年同様、社員全員が

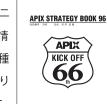


大阪に集合し、キック オフ経営方針会議と 社員表彰、そして大 懇親会を行いました。 年1回の大懇親会は 社員にとっても絶好 の交流の場であり、

楽しく参加してくれています。

また3年前から社業の見える化活動の一 環で、「APIX STRATEGY BOOK」(通称ASB)と いう社員手帳を、この時期に作成します。内 容は、企業理念・社長メッセージ・事業ドメイ ン・事業ビジョン・組織・部門別ビジョン・販 売計画・教育研修ス ケジュール・コミュニ ケーション活動・情 報セキュリティ・各種 プロジェクト等、盛り だくさんの内容です。

このASBは各自の



社員番号や名前が入っており、随時中身を追 記し、また修正点は上から紙を貼り、内容を 更新し、1年後に真っ黒になって次年度の ASBを作成する、という使い方をします。社員 にも少しずつ定着してきたように思います。

話しは変わりますが、我々の所属する複写 業では、2016年3月で感光紙の供給が完 全にストップ、複写産業のルーツである「青 写真焼付複写サービス」はこの時点で終焉 を迎えます。創業時から現在に至るまで約 100年間の歴史を以て、技術革新により一 時代の役割を終えたことになります。しかし



企業はお客様に満足してもらえるサービス を形や質を変え提供し続けることで、社会 的な使命を果たしていく義務があり、弊社に おいても創業当時では想像もつかないサー ビスメニューを現在提供しおります。

「唯一生き残ることができるのは、変化で きるものである」というダーウインの名言が ありますが、「言うは易し、行うは難し」であ ります。既成概念を振り払い、100年企業 達成をひとつのマイルストーンに、お客様か ら必要とされるサービスを求め、日々精進し ていくのみです。

期初にあらためて 背筋を伸ばしての決 意です。引き続きどう ぞよろしくお願い申し 上げます。

winter gift 2015



おなたの 🤎 を届けます

### sense 121

### 「冬ギフト」イベント始まる!

毎年ご好評頂いている冬ギフト。今年も冬ギフト専用の新作デザインを多数ラインナッ プいたしました。これからクリスマスや年末年始と慌ただしい時期を迎えますが、お好き なラベルに日頃の感謝の言葉を添えて、他にはない"オリジナルギフト"として、大切なあ の人に贈りませんか?冬ギフト専用ラベルの他にも100種類以上のラベルを取り揃えて おりますので、是非ご利用下さい!

■販売期間:2015年11月9日(月)~2016年1月31日(日) sense121プロジェクト

株式会社アピックスの提供するワイン・吟醸酒の「お名前入りラベル」をあしらった、お洒落なお酒の通販ショッピングサイトです。
とは・・・・オリジナルデザインのラベルに、贈りたい人のお名前とメッセージを添えて、お揃いのメッセージカードと一緒にお届けします。



もう12月です!今年もあと1ヵ月というところにきてしまい、時の早さをひしひし と感じる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今号の「AP COMMUNICATION」は、秋も過ぎ、冬の到来を感じていただけ るようにと、ブルーグレーにてしております。

もちろん内容はホットになっておりますので、今年最後の「AP COMMUNICATION」 存分にお楽しみください。 事業企画室 山本 航平



今号の1枚 テレビ会議



〒541-0059 大阪市中央区博労町 1-2-2 〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8 新富町営和ビル TEL:03-5879-7291 FAX:03-5879-7296 URL http://www.apix.co.jp E-mail info@apix.co.jp

TEL:06-6271-7291 FAX:06-6271-7296